

# 我が市の緊急な経済対策と生活支援策について問う

柿崎 実



ハローワーク横手での求職状況

**問** 12月補正予算は、今の経済情勢に対応した緊張感のあるものになっていないと思う。民間の活力が衰え、雇用も拡大する力がない現状では、民間事業者を下支えすると共に行政自らが雇用枠を拡大する政策を打ち出すことが求められている。当面、緊急的に考えられる施策を、次のように提案したい。

- ①可能な限り建設工事の前倒し発注をすること。
- ②工事の状況に応じて前払金、部分払など工夫をすること。
- ③小規模経営者に対しマル横融資拡大や利子補給期間の延長、借り換えなどの利便を図り企業支援をすること。
- ④公益事業を拡大して行政自

- ら雇用の場をつくること。例えば、各部課での基礎資料や台帳の作成整備・道路維持や土木工事の拡大発注・冬期の道路パトロール充実・学校校務員増配置・病院看護助手や福祉施設介護職員の増配置・子育て支援スタッフの増配置・非常勤職員は人材センターと住み分けをして若年層の就労機会を増やすこと、など。
- ⑤生活困難な方への市税などの負担の減免、分納などの便宜や就学援助、生活扶助の申請にすみやかな対応をすること。
- ⑥福祉灯油購入助成事業を復活すること。

**答** 企業支援や雇用対策など、具体的な提案をいただきましたので、緊急に雇用対策本部を立ち上げた中で取り組んでまいりたい。

- その他の質問**
- 高齢者福祉施策について
  - 災害時安心リストについて
  - 公共工事の入札と契約
  - 市税収入の見直しについて
  - 駅西口周辺の顔づくり

# JR横手駅舎改築には多方面から異論 計画の精査が必要である

寿松木 孝



JR横手駅舎

**問** 予定したスーパー撤退後の状況と、これによる横手駅周辺開発の計画変更はあるか。また、公共施設の維持管理に必要な費用は。

**答** 再開発組合が主体になり、数社と条件を含め出店を交渉中だが、厳しい状態が続いている。日常生活に必要なものが供給でき、利便性が増すよう、最大限の支援をしていく。なお、商業施設部分の設計変更はありうるが、公共施設の変更はないものと考えている。維持管理費用は、概算であるが年間3千万円程度の見込みである。メンテナンス費用はどの施設も苦慮しているのので、ハード面だけでなく維持管理の経費についても手当てが必要と考えている。

**問** 駅舎改築を見直すべきではないか。

**答** 東西自由通路の位置が決定したことにより、駅舎そのものが支障物件になるので、その機能を補償するためである。通路についても様ざま検討したが、いずれの案も現駅舎の一部ないしは全部が支障となる状況であった。

駅舎の場合、通路保安施設などが複雑に設置運用されているので、部分撤去や改良では駅機能の確保が困難なため、全面改築が必要となる。

**問** 東西自由通路のメリットはJRも甘受できるのに、負担皆無は理解し難い。交渉に問題があったのでは。

**答** 国土交通省都市地域整備局所管の中心市街地活性化に基づく協議会の中で、国の指導を受けながら、JRに要望し交渉してきた。全国の先進事例をみても難航しているが、市民のためになる交渉に全力を挙げていく。

- その他の質問**
- 学校給食について
  - 他世帯家庭への支援